

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	認知症高齢者在宅支援事業	会計	一般会計	事業No.	201	施策順No.	35-012
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-1-4-14-2		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり				課等名	介護高齢課	
施策	35 高齢者福祉の推進	事業期間	開始	21	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできてない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人		7	10	15	20	
		介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人			10	10	20	
	意図	在宅での介護を受けた生活を維持する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	サービスの提供を受けた高齢者数/介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人*100			80	60	73	50	B
	他の手段で問題解決が図られた高齢者数/介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人*100			0	50	20	50	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	概ね達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 介護保険該当者で介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人に対して、限度額を超えてヘルパーを派遣する。サービスの内容は、介護保険の訪問介護と同等のサービス(生活援助、身体介護)。提供回数は、原則1日1回以内。</p> <p>2 介護保険該当の認知症高齢者で、介護保険の支給限度額内では重度化の予防が困難である者に対し、限度額を超えて通所介護サービスを提供する。サービスの内容は、介護保険の訪問介護と同等のサービス。提供回数は、原則1月2回以内。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 介護保険外特別ホームヘルプサービス事業 ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。</p> <p>2 介護保険外デイサービス事業 ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。</p>	<p>1 相談件数 サービス提供者数 利用回数 家事援助 身体介護</p> <p>2 相談件数 サービス提供者数 利用回数</p>	<p>20人 11人 1,274回 758回 516回 6件 2人 3回</p>
	23年度実施計画	<p>1 介護保険外特別ホームヘルプサービス事業 ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。</p> <p>2 介護保険外デイサービス事業 ケアプランの内容確認及び調整を十分とる中でのサービスの適切な提供に努める。</p>	<p>1 相談件数 サービス提供者数 利用回数 家事援助 身体介護</p> <p>2 相談件数 サービス提供者数 利用回数</p>

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (そ) 老人ホームヘルプサービス負担金
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他	127	227	127	
		一般財源	3,022	2,882	2,829	
	計(A)	3,149	3,109	2,956		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		0			
	トータルコスト A+B		3,109			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	施策の成果指標又はムトス指標
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせる高齢者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	介護保険制度の枠内では健康的な日常生活の維持が困難な者の介護支援を行った。
	後期に向けた課題	制度適用の基準の明確化。
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	介護保険制度の枠内では健康的な日常生活の維持が困難な者の介護支援を行った。
	後期に向けた課題	制度適用の基準の明確化。
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	介護保険制度の枠内では健康的な日常生活の維持が困難な者の介護支援を行った。
	後期に向けた課題	制度適用の基準の明確化。
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	介護保険制度の枠内では健康的な日常生活の維持が困難な者の介護支援を行った。
	後期に向けた課題	制度適用の基準の明確化。
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	介護保険制度の枠内では健康的な日常生活の維持が困難な者の介護支援を行った。
	後期に向けた課題	制度適用の基準の明確化。
全体を通じて	4年間の振り返り	介護保険制度の枠内では健康的な日常生活の維持が困難な者の介護支援を行った。
	後期に向けた課題	制度適用の基準の明確化。

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------